

## 横浜ブルーカーボン

### ブルーカーボンとは？

海洋に生息する海藻などの生き物によって吸収・捕捉される炭素のことです。森の緑と同じように、わかめなどの海の生き物も CO<sub>2</sub> の吸収・削減に貢献しています。ブルーカーボンは、2009年の国連環境計画(UNEP)の報告書で命名されました。



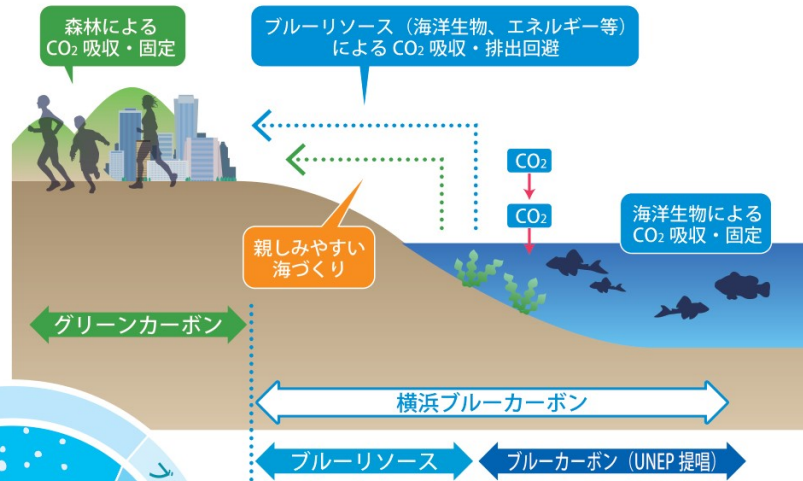
▲養殖コンブ  
(横浜市漁業協同組合)

### ブルーリソース

海洋エネルギーの活用や臨海部の低炭素化など、海洋及び臨海部におけるエネルギー・資源の有効活用のことです。



▲海水ヒートポンプ  
(株式会社横浜八景島)



『横浜ブルーカーボン』では、「ブルーカーボン」に限らず、臨海部におけるエネルギー等の利活用に着目した「ブルーリソース」や、人と海とのつながりを築く「親しみやすい海づくり」を進めています。

### 親しみやすい海づくり

市内企業・団体や大学等と連携しながら、わかめの植付け・収穫イベントや東京湾の生きもの観察ツアー、横浜産わかめ試食会などの環境啓発活動を行っています。



▲東京湾の生きもの観察ツアー

### 独自のカーボン・オフセットの取組

市内企業・団体の「わかめ地産地消」、「海水ヒートポンプの導入」、「LNG燃料タグボートの導入」等によるCO<sub>2</sub>削減効果を活用し、世界トリアスロンシリーズ横浜大会の開催などで排出されたCO<sub>2</sub>のオフセット(埋め合わせ)を行っています。



横浜産わかめの試食会



海藻おしぼ教室



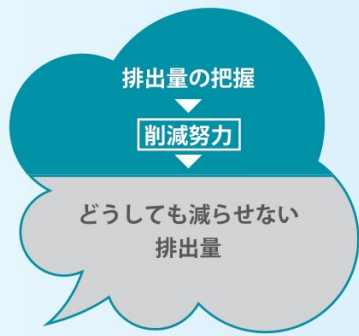
わかめ収穫イベント



© Satoshi TAKASAKI/JTU

# ブルーカーボン・オフセットで 横浜の海をもっと魅力的に

## ブルーカーボン オフセット実施イベント・企業



## 埋め合わせ (オフセット)

資金などの支援

クレジット

## ブルーカーボン クレジット創出企業



(カーボン・オフセットフォーラム Web ページ掲載図を基に作成)

トライアスロン大会等のスポーツイベントの開催や事業活動に伴い排出された CO<sub>2</sub> のオフセットを実施

## ●ブルーカーボン・クレジット



横浜市漁業協同組合



日向市



普代村



阪南市

【プロジェクト】

養殖コンブによる CO<sub>2</sub> の吸収 (横浜市漁業協同組合)、宮崎県日向市のアラメ場における CO<sub>2</sub> の吸収、岩手県普代村における養殖ワカメ・コンブの CO<sub>2</sub> 吸収、大阪府阪南市における養殖ワカメの CO<sub>2</sub> 吸収

## ●ブルーリソース・クレジット



株式会社新日本海洋社



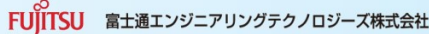
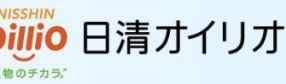
NPO 法人海辺つくり研究会



株式会社横浜八景島

【プロジェクト】

LNG 燃料タグボートの導入による CO<sub>2</sub> 削減量 (株式会社新日本海洋社)、ハイブリッドタグボートの導入による CO<sub>2</sub> 削減量 (株式会社新日本海洋社)、わかめの地産地消による CO<sub>2</sub> 削減量 (横浜市漁業協同組合 / 株式会社横浜八景島 / 海辺つくり研究会)、海水ヒートポンプの導入による CO<sub>2</sub> 削減量 (株式会社横浜八景島)



(令和 2 年度実績)



## ●横浜ブルーカーボン・オフセット制度

カーボン・オフセットとは、自らの CO<sub>2</sub> 等の温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を、他の場所での排出削減・吸収活動に投資することによって相殺することをいいます。本制度は、市内の「ブルーカーボン」や「ブルーリソース」による CO<sub>2</sub> 吸収量の増大及び排出量の削減効果を、取引可能なクレジットとして独自の的方法論によって認証し、そのクレジットの売買を行うことで、海の環境活動の更なる推進を目指す、横浜の海を舞台にしたカーボン・オフセット制度です。



みんなで育てよう、地球を守る海のカ。横浜ブルーカーボン事業は SDGs 達成に貢献していきます。

